



少子化が加速していく中での 学校の管理運営について

岩上 博志 議員



質問 令和4年度から導入されたコミュニティ・スクールにおける3年間の取組状況について伺います。

答弁 各学校では、学校運営協議会において、目指す子どもの育成に向けて、必要なことは何かを熟議し、できることから様々な取組を行っています。

例えば、中学校体育の武道の授業では、地域に「なぎなた」を指導できる方がいることを生かして、地域の方々から「なぎなた」の指導を受けています。

質問 義務教育9年間の学びの一貫性について、現在の中学校区ごとの小中連携の実態を伺います。

答弁 中学校区ごとの小中連携の実態ですが、学習面では、英語の時間に、中学生が小学6年生にオンラインで中学校生活を紹介したり、総合的な学習の時間に、里沼学習の発表と意見交換をしたりしています。しかし、学校により意識の差があることや単発的に行われていることなどの課題もあります。

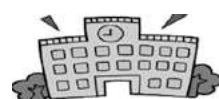
質問 小中連携での兼務教員の働き方改革について、どのような対応をしているのか伺います。

のか伺います。

答弁 本年度の兼務教員は3名おり、週の担当授業時数は、在籍校と兼務校の合計で平均18時間です。兼務教員3名が所属している学校の他の教員の担当授業時数は、平均20時間ですので、約2時間の軽減が図られていることとなります。

質問 子どもたちにとって最適な学習環境の整備が図られるよう、適正規模・適正配置基本計画の策定をしていくのか伺います。

答弁 今年度は「館林市教育環境に関するアンケート」を実施して子どもたちや保護者、市民等から貴重な声を聴くことができ、令和7年度には審議会が設置され、本格的に今後の学校の在り方を協議していくこととなります。その中で義務教育学校や中高一貫校などについても選択肢のひとつとして捉え、議論されていくものと考えています。



金属スクラップヤードについて 口腔ケアによる健康維持向上について

岡野 陽子 議員



質問 金属価格高騰により銅線やエアコンの室外機、給湯器の盗難等が増加し、昨年、多々良沼公園の銅線が盗まれた。このような中、鉄壁で覆われたスクラップヤードが増加し犯罪の温床になるのではと不安の声があるが、ヤードの現状は。

答弁 市内10か所で、ヤードの現状は。

ドの操業を把握しています。

質問 どのような業者か、国籍や運営法人など、実態を把握しているのか。

答弁 業者名や一部のヤードは外国籍の方が運営していることを把握しています。

質問 地下水や土壌の汚染などが、いつ発生するか分からない中、どのような相

談が多いのか。

答弁 物品の積み下ろしや解体作業に伴い発生する騒音・振動・悪臭が主です。

質問 独自の条例を制定するなど、今後のヤード対策について本市の考えは。

答弁 群馬県においては、ヤードを規制する条例案が2月17日に県議会へ上程されました。環境省でも有識者会議が開催されており、国と県の動向を注視していきたいと考えています。

要望 ぜひとも将来に向け

リスクを回避し、住民への事前説明や住宅地から離れた場所への施設設置など、住民の安全や生活環境の保全に寄与する条例制定の検討をお願いしたい。

質問 人生100年時代、豊かな人生を歩むためにも、妊娠初期から乳幼児期の口腔ケアについて、どのような取組を行っているのか。

答弁 妊婦歯科健康診査や乳幼児健康診査にて講話、フッ素塗布、ブラッシング指導などを行っています。

質問 園児の虫歯ケアは。

答弁 3歳以上のお子さんを対象に給食後の歯磨き指導を行っています。

質問 小中学校の口腔ケアについては。

答弁 給食後の歯磨きを進めています。虫歯予防を含め、歯と口の健康についての啓発も行っています。

質問 大人の口腔ケアは。

答弁 20歳から70歳の5歳刻みの年齢に歯周病検診を、75歳に到達する方に歯科検診を行っています。